山田としお 国政報告

第21号
令和2年12月発行

新たな食料・農業・農村基本計画の策定に参画

基本計画の策定と着実な推進に全力

昨年7月、皆さんの圧倒的なご支援をいただき3度目の選挙に当選させていただきました。その直後から、5回目となる「食料・農業・農村基本計画」の改定のための農業基本政策検討委員会の事務局長に就任し、今年4月まで全力で基本計画の策定に携わりました。また、主に農林水産大臣経験者がメンバーである少人数農林幹部会（通称、インナー会議）にも仲間入りさせていただき、主要な農政課題の議論に加わることができました。

コロナのまん延で国民生活は一変

ところで、今年もまた、九州、中部、東北の各県を襲った豪雨は、各地で多くの死者と甚大な被害をもたらしました。被災された皆さまに心からお見舞いを申し上げます。

それに追い打ちをかけるように、「新型コロナ」という疫病が、世界中の国々にまん延しました。そして国民生活はもちろん、経済全体の活動の停滞と恐怖を与え続けました。外食需要が減ったことで、農産物価格も低迷し、農業者の所得も大きく減りました。当然、出荷を控えていた農産物も行き先を失い、季節が変わるにもかかわらず次期作の準備も進められないという事態になりました。

とりわけ農業は、作物栽培の継続による再生産が急務です。国は次期作支援などの補てん対策に取り組んでいますが、広範で、かつ多様な被害への対応に、財政的にも苦しんでいます。この困難を、国を挙げた取り組みで乗り越えねばなりません。

自由民主党東京都参議院比例区第三十四支部　〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-23 宗保第2ビル6階　TEL.03-6380-8280 FAX.03-3293-0321

「山田としお」は、農林水産業を元気にするために、全力で頑張ります

国の存立と安定の在り方として基本となるのは、国民の食の安定確保、そしてそれを供給する農業者の経営維持と農地など生産条件の確保です。

このバランスを維持しなければならないのに、生産サイドに問題があるとして、規制改革推進会議などの農業攻撃が、わが国の地域と農業者に不安と混乱を与えています。このことは、養父市における株式会社による農地所有の実態が、極めて端的に問題の所在を示しています。株式会社の農業参入が、着実に展開されていると喧伝されていますが、参入企業が、しっかり地域の農業者と連携し、農作物の生産・流通・販売がされているかというと、多くの課題を抱えていると言わざるを得ないのです。

その一方で、養父市に隣接する山間地域で、地域の農業者の皆さんと連携し、農地利用を集約した若い農業後継者のグループは、法人化して機械の共同利用を核とする協同作業と共同販売を行い、しっかり所得確保を実現し成果を出しています。株式会社の農業参入でなければならないということでは決してないのです。地域を中心にした法人組織として地域で成長している取り組みがあるのです。そこでは、JAも大きな役割を果たしています。何が大事なのか、もっともっと詰めて、そして、地域の実態を踏まえ、しっかりした農業者と法人経営をつくり上げましょう。

もちろん、JAは地域の核として、「地域の仲間と協同し」「地域の農業生産と食の安定供給と」「誇りある美しい街と村づくり」に全力を挙げる必要があります。ともに、頑張りましょう。

JA東京青壮年組織協議会の皆さんと都市農業について意見交換

9月20日 富山県にて令和2年新嘗祭「献穀斎圃抜穂祭」

献穀米

山田としおホームページ
https://www.yamada-toshio.jp/
山田としおの足あと（活動記録）や、山田のつくった法律などを分かりやすくご紹介しています。ぜひご覧ください。

ホームページから山田としおメールマガジンにご登録ください
山田の主張や熱き思いを知ることができます。

山田としおフェイスブック
山田の日常を掲載。
ぜひ「山田としお」にいいね! を。

山田としおツイッター
@toshio_yamada1
ぜひいいねやリツイートで山田の活動を広めてください。

山田としお公式ブログ
https://ameblo.jp/toshio-yamada/
山田の近況が分かります。